

第1回多摩消費生活センターの機能強化検討部会(11/24)における主な意見(要約)

(敬称略)

○市町村や消費者団体への支援

No.	意見
1	・センターの事業概要の説明に、東京都消費者月間多摩会場のことが一言も触れられていないのが、私どもとしては少し不満である。消費者団体と東京都との協働で立ち上げた実行委員会が実施する事業なので、支援か連携か、あるいは協働という部分が必要だと思う。私の記録では2008年から多摩会場として多摩消費生活センターで開催しており、センターの職員さんにも多くの協力をいただいているので、それもぜひ加えていただきたい。 (五十嵐専門員)

■学習の場の提供

No.	意見
②施設予約に係る負担の軽減について	
2	「予約状況を新たにWeb上で公開し」ということだが、現在私たちが団体として予約開始できるのは2か月前からで、東京都の事業はおそらく、年度初めくらいに1年分が入ってくると思う。直近2か月の予約状況だけではなく、そうした行政関連の予定も全て一度に見られるようにしていただけると、計画を立てるのに大変便利になるので、お願いしたい。(五十嵐専門員)
③交流コーナーのリニューアルについて	
3	交流コーナーのリニューアルとあるが、エシカル消費や地産地消といったキーワードがいくつか出てきているので、その交流コーナーそのものが、例えば多摩地区の木材を使った家具を入れてみたり、まさにその場がエシカル、地産地消の場になっているといったスペースになっていったらすごく素敵だと思う。みんなが行ってみたいと思うような場づくりという観点、エシカルな調達というような観点で進めていただけるとありがたい。(柿野委員)
4	交流コーナーについて話が出ていたが、センター自体が、登録をしないと使えないということではなく、誰でも気軽に立ち寄っているいろんな活動のパネルとかも貼ってあれば、興味を持った人が仲間をつくって新しいグループを作ったりできればいいと思う。ぜひ居心地のいい場所を作っていただければと思う。(小浦委員)
④図書資料室のサービス向上	
5	都民から、こういう図書やこういうDVDを入れてほしいという希望をとるといようなことは書いてないが、とてもいい本でもやたら高いものだったりするので、そういうときに希望すれば取り寄せていただけるような体制を取っていただけるとありがたい。(五十嵐専門員)
⑤新規団体への活動場所の提供と交流促進	
6	新規団体への活動場所の提供と交流促進についてだが、「消費生活問題について学習・活動している団体等に対し」となっているが、私どもが消費者活動をしている上で、福祉の、例えば保険や介護保険など、そういうものをどういうふうに使うかといったことも消費者問題である。そういうことについて活動している福祉の団体などでも、希望すればこの中に含めていただけるようになるとうありがたい。(五十嵐専門員)
7	新団体の活動場所の提供について、消費生活問題というのは幅広くて、福祉の話も出ていたが、やはり今は地球温暖化の関係で環境に関心を持つグループもたくさんあるので、NPOで活動しているとか、消費者団体と名のらなくとも、グループでやっている人たちにも気軽に申請をいただいて、応相談ということでやっていただければと思う。(小浦委員)

■消費者教育について

No.	意見
③消費者団体との協働の強化による啓発効果の向上	
8	消費者教育について、多摩地域は大学もたくさんあるので、大学生とコラボをして、小学生向けや中学生向けの何か、身近な年齢の人たちと一緒に学んでいくという、そういう講座のようなものも、夏休みに向けて考えていただけると、広がりができるのかなと思う。とにかく、移転をきっかけに取組が広がっていくというところに期待しているので、ぜひよろしく願います。(小浦委員)
その他	
9	消費者教育コーディネーターという立場の方が、多摩地区をより連携協働を深めていくというような支援で、学校とのコーディネーターや地域活動をより活動推進していくためのコーディネーターという、そんなお立場でいられたら、より充実していくと思う。(柿野委員)

■その他全般

No.	意見
10	やはり機能強化という面では、消費者団体が活動しやすい場所にあるということが大変重要なことでもあるので、ぜひ立川駅の周辺で探していただければと思う。(小浦委員)
11	機能強化についての取組を見ると、基本的にはセンターに集まって、あるいはそこに行って何かやるということが、従来もそうだし、そうやっていくことを目指されているのかなと感じて、それ自体はとても重要なことだと思う。一方、オンラインが当たり前になっていく中で、そのバランスをどう考えるのかということも重要だと思う。(平澤部会長)
12	必ずしも立川が便利なところばかりでもなくて、東京は電車が発達しているので、都心に行ったほうが早い場合も結構ある。その中での多摩センターの位置付けというのも考える必要があると思う。そういうことを考えている中で、さっき柿野委員や小浦委員がおっしゃっているように、行ってみたいくなる、行って面白いなと感じられるようなものをつくるというのは、とても大事だと思う。(平澤部会長)
13	実習室と機材室とは旧来のところに残るようなので、そういう意味では多摩センターの分室みたいなことで、多少離れた場所になると思うが、この実習室等で講座や会合のようなものを行うのも面白いと思うので、その連携は引き続き十分取れるようにしていただきたい。(平澤部会長)